

ムシオイ類とは

ムシオイ亜科は「虫様管」と呼ばれる構造を貝殻に持つことが特徴的な、小型(殻径3~6 mm程)の陸産貝類のグループである。日本からは43タクサ(31種・12亜種)が知られており、さらに多くの未記載種が存在することもわかっている。全体的に分布範囲が狭い種が多く、本亜科の約80%が絶滅危惧種に指定されている。

分類学的再検討

これまでは主に蓋と貝殻の形態で分類されており、より詳細な形態形質や分子情報に基づく分類の見直しが課題であった。そこでミトコンドリア16srDNAに基づく系統解析を行い、分類群全体の見直しを進めている。これまでに4新種を記載し、1種を再記載した。

保全や活用に向けて

ムシオイ類のような目立たない生物であっても、固有性・希少性を伴う生物(いわゆる“ご当地生物”)は地域活性化のシーズとなる可能性を持っている。2013年に新種記載したアナムムシオイについて、資源(環境教育の素材、カタツムリをモチーフにしたスイーツ等)として活用しつつ、同時に保全する仕組みづくりに取り組んだ。



アナムムシオイ *Dicharax ananensis*



環境教育の素材として活用



産業資源(コンテンツ化)として活用